

# 学報 神戸大学

No.13

## ●官報参照事項

- 法律第二六六号 国家公務員に対する年末手当の支給に  
関する法律(十二月十五日)
- 法律第二六九号 国立学校設置法等の一部を改正する法  
律(十二月十六日)
- 法律第二八二号 所得税法臨時特例法(十二月二十日)
- 法律第二九九号 一般職の職員の給与に関する法律の一  
部を改正する法律(十二月二十七日)
- 政令第三五四号 国家公務員に対する年末手当の支給に  
関する法律の施行に関する政令(十二  
月十六日)
- 文部省令第三一号 科学研究費交付金等取扱規程の一部を  
改正する省令(十二月二十八日)
- 文部省令第一号 文部省職員定数規程の一部を改正する  
省令(昭和二十六年一月十二日)
- 共同省令第四号 石油製品配給規則等の一部改正(十二  
月二十九日号外)
- 人事院規則 人事院規則九一七俸給等の支給(十二  
月二十九日)

人事院規則 人事院規則一〇二(用語の定義)の一部  
改正

人事院規則 人事院規則一〇四(現行の法律、命令  
及び規則の廃止)の一部改正  
(以上昭和二十六年一月五日)

人事院規則 人事院規則九一六(俸給の調整額)改正

人事院規則 人事院規則九一八(初任給、昇格、昇  
給等の基準)制定  
(以上昭和二十六年一月六日)

人事院公示第一二二号 人事院規則六一〇(職種及び職級の決  
定及び公表)に基き職種及び職級の  
新設(十二月十五日号外)

人事院公示第一三三号 右同(十二月二十八日号外)

日本学術会議告示第二号 第二回日本学術会議会員選挙による当  
選人の氏名(十二月十六日)

文部省公告 昭和二十六年科学研究助成補助金及び  
科学試験研究費補助金の交付申請受付  
公告(十二月二十八日)

## ●任 免 事 項

兼ねて神戸大学文理学部教授を解く 教官 北川 敏男  
(十一月二十日文部省)

事務官 原 利雄  
教官 大塚 俊郎  
各通 全 稲葉 襄  
神戸大学助教授に補する  
経営学部勤務を命ずる  
(十二月二十八日 文部省)

西村勝比古  
文部教官に任命する 十級三号俸を給する  
神戸大学助教授に補する 文理学部(文科)勤務を命ずる  
(京大) 教官 野間 央之

神戸大学教授に補する  
工学部勤務を命ずる

(以上十二月三十一日 文部省)  
教官 松井 秀治  
東京大学助手を命ずる (九月三十日)  
事務官 寺脇 弘光  
神戸大学附属図書館姫路分館分任物品会計官吏を命ずる (十月十七日)

非常勤講師 時田富士子  
文部教官(教諭)に任命する 六級二号俸を給する  
兵庫師範学校明石附属中学校勤務を命ずる  
各通 全 田代富三郎  
全 谷井 貢  
全 池内 瑞子

願に依り雇を解く  
(以上十一月三十日)  
深沢 広祐  
文部教官に任命する 八級五号俸を給する  
神戸大学講師に補する 文理学部理科勤務を命ずる  
(十二月五日)

田中 一子  
雇を命ずる 三級三号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる (十二月十一日)  
吉坂 武男

雇を命ずる 七級三号俸を給する  
法学部勤務を命ずる (十二月十四日)

事務官 酒井 茂雄  
法学部補導厚生掛長を命ずる  
事務官 大坪 庸一  
法学部会計掛長心得を命ずる  
技官 木村 敬一

事務局施設課管繕掛長心得を命ずる  
屋島クリエ  
備員(事務見習)を命ずる 一級二号俸を給する  
工学部勤務を命ずる  
安彦 和子

備員(炊婦)を命ずる 三級三号俸を給する  
教育学部明石分校勤務を命ずる

事務官 山下 久子  
経済経営研究所庶務掛長を命ずる  
事務官 川西 新

経営学部補導厚生掛長心得を命ずる  
椿 幸雄  
松本 恒隆

文部教官に任命する 各通  
神戸大学神戸工業専門学校教授に補する  
八級五号俸を給する  
(以上十二月十五日)

高柳美智子  
雇(タイピスト)を命ずる 三級一号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる (十二月二十日)  
新谷 倭子

雇を命ずる 四級一号俸を給する  
工学部勤務を命ずる (十二月二十五日)  
雪本 国男  
雇を命ずる 六級一号俸を給する  
経済学部勤務を命ずる  
高野 勉

雇を命ずる 四級二号俸を給する  
経済学部勤務を命ずる  
大家 辰夫  
雇を命ずる 七級二号俸を給する  
経営学部勤務を命ずる  
(以上十二月二十六日)

備員 藤田 利明

官吏俸給令第七条により俸給の半額を減ずる  
(十二月二十八日)

内藤 清  
雇を命ずる 五級三号俸を給する  
附属図書館勤務を命ずる  
雇 八木 貞次  
全 井上かほる  
全 中川 淑子  
全 藤本タケ子  
全 煎本 増夫  
全 平田 三郎  
全 太田 猛  
全 小西 啓介

願に依り雇を解く  
兼て神戸大学第二課程主幹を解く  
経済経営研究所統計兼図書掛長心得を命ずる  
(以上十二月三十一日)  
教官 田中 金司  
事務官 生島 芳郎

人事院規則一五―六により引続き向う三ヶ月間  
賜暇療養を命ずる (昭和二十六年一月一日)  
各通 教官 大村 綾子  
吉田 利一  
木下 広  
細野 三良

雇を命ずる 六級一号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる

各通

戸田 尚  
中西 輝子

雇を命ずる 五級一号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる

各通

島田 和夫  
水野 吉祐

雇を命ずる 三級一号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる

森 順一

雇を命ずる 七級一号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる

青木美重子

雇(タイピスト)を命ずる 三級一号俸を給する  
事務局庶務課勤務を命ずる

(以上昭和二十六年一月十三日)

雇に依り雇を解く(昭和二十六年一月十五日)

雇 坪井 三郎

雇を命ずる 三級一号俸を給する

元木 昭三

事務局庶務課勤務を命ずる

教官 八木 助市

神戸大学神戸経済大学教務課長を命ずる

(以上昭和二十六年一月十七日)

● 雑 報

渡米中の処一月二日帰国された  
教官 藤井 茂

アメリカ行政学研究調査のため二月渡米の予定  
教官 竹中 龍雄

● 昭和二十六年進学適性検査追査検査実施について

一、受検資格  
(一)一月二十三日(火)の本検査当日病氣等で止むを得ない事情のため欠席し、その事由が出身学校長によつて証明された者

(二)各審査会において特に止むを得ない事情があると認められた者(止むを得ない事由書添付のこと)

(三)国で行う進学適性検査に合流した左記の追加校に希望する者で本検査の時に出席しなかつた者(但しこのことについて周知徹底を欠いた監理審査会に限り受付ける)

追加校名

東京都立大学、浪速大学、兵庫県立農科大学、早稲田大学、東北薬科大学、仏教大学、熊本短期大学、茨城キリスト教短期大学、鈴ヶ峯女子短期大学

二、追検査期日

昭和二十六年二月十三日(火)

三、願書受付期日

(一)受検資格(三)項に該当する者については昭和二十五年三月六日から全月二十三日まで(註 受付済)

(二)受検資格(一)(二)に該当する者については昭和二十六年一月二十四日から一月三十一日まで

四、出願手続

(一)に該当する者は受付期間内に出身学校長の証明を経て受検者が直接出願する

この際先に受けた受検票(A様式)を監理審査会に提示して受験未了の証明をもらうこと。

(二)(三)に該当する者は本検査出願時と同様の手続によつて受付期間内に出身学校長經由して出願すること。

受験資格(三)に該当する者は志願校の変更は出来

ない  
なお追検査受検者は現住地において出願手続をすること。

(詳細は本部学生部補導課に照会のこと)

● 昭和二十六年度学生募集要項(抜萃)

一、募集人員

文理学部 文科(九〇名)理科(四〇名)

教育学部 四年課程(二〇〇名)二年課程(三八〇名)

法学部 (九〇名)

経済学部 第一、二課程(二二〇名)

経営学部 第一、二課程(二二〇名)

工学部 (二四〇名)

二、入学資格(略)

三、出願手続(略)

四、出願書類受付期日

一月二十五日(木)から二月十五日(木)まで

毎日午前九時から午後五時までとする。但し土曜日は午前中とし日曜日を除く。郵送によるものは封筒表面に志願学部及び課程名を朱書き期限内に到着するように注意されたい。

五、試験科目

国語、社会、数学、理科、外国語

六、学力試験、身体検査等の日時

(一)時間割

月	日	科目	時間
三月三日(土)	理科	九時—十二時	十二時—二時
三月四日(日)	数学	九時—十二時	十二時—二時
三月五日(月)	外国語	九時—十二時	十二時—二時
		身体検査及び面接、素質検査	

七、合格者発表

三月十八日(日)正午各学部において発表し、且つ郵便で通知する。なお姫路分校においては全学部の合格者を掲示する。

八、外国人学生(略)

九、就学学舎(略)

一〇、志願者名票記入の心得(略)

(詳細は本部学生部補導課に照会のこと)

● 昭和二十六年二月神戸大学臨時編入学者選抜要項 (抜萃)

左記要項により旧制専門学校卒業生に対し臨時編入試験を行う

一、編入学資格

左の学校を昭和二十六年三月までに卒業し現在これらの大学にも在学しない者

(一)旧制経済専門学校(旧制大学経営学専門部高商部及び商業教員養成所を含む)

(二)旧制工業経営専門学校

(三)旧制専門学校

(四)本学において適当と認められた学校

二、募集人員

経済学部、経営学部(共に第一課程)各約十名

三、選抜試験期日及び学科目

(一)学科試験 昭和二十六年二月十八日(日)

(二)試験科目及び時間

経済学部 (イ)経済学、数学及び西洋史のうち

二科目選択

(ロ)英語(邦訳及び英訳)

経営学部 (イ)経済学、経営学及び会計学のうち

二科目選択

(ロ)英語(邦訳及び英訳)  
(三)身体検査及び面接 二月十九日(月)身体検査は十時から、面接は十三時から行う。

四、試験場

神戸大学六甲学舎

五、出願書類受付期日及び場所

期日 昭和二十六年一月二十五日(木)から同二月十日(土)まで

場所 神戸大学経済学部、経営学部各事務室

六、出願手続

志願者は出身学校を通じて志願学校事務室へ提出すること(用紙は本学で交付する)

七、合格者発表 二月二十二日(木)

(注意)

編入学後は三年以上在学し、且つ所定の単位を履修しなければならぬ。専門学校で履修した学科目についての単位換算は本学の判定によるものとする。(詳細については本部学生部補導課に照会のこと)

● 新潟宿泊所開設について

所在地 新潟市東堀通り八番町一四一二

宿泊人員 三〇名一人一泊三食付二九七円

奨学生数一覽 26.1.19.現在

旧 制

学 部 別	奨学生別	一般奨学生	特別奨学生	計
第 一 学 部		138	5	143
第 二 学 部		16		16
専 門 部		6		6
計		160	5	165

新 制

学 部 別	奨学生別	一般奨学生	特別奨学生	教育奨学生 甲種	教育奨学生 乙種	計
経 済 学 部		72	1			73
経 営 学 部		58				58
法 学 部		23				23
工 学 部		55	1			56
文 理 学 部		24	1			25
教 育 学 部		18		379	414	811
経済学部第二課程		13				13
経営学部第二課程		14				14
計		277	3	379	414	1073

● 主 要 日 誌

一月一日 名刺交換会

全月八日 横浜国立大学事務局長檜垣氏来学

全月十八日 国立大学事務局長会議に長島事務局長出席

出席

全月全 日 アジア経済専門委員会開催

(田中薫、藤井茂阿教授帰朝報告)

全月十九日 本学経済経営研究所主催で調査事務協議会開催

議会議場

全月二十日 全右協議会引続き行う

全月二十三日 進学適性検査実施

全月二十五日 入学願書受付開始

昭和廿五年度授業料後期分減免許可者内訳表

昭和 25 年 12 月

(旧 制)

学 部 別	許 可 人 員
経済大学 第一学部	5 3
“ 第二学部	1 6
“ 附属専門部	0
工業専門学校	7
合 計	7 6

(新 制)

学 部 別 学 舎 別	経済学部	経営学部	法 学 部	文 理 学 部		工 学 部	教 育 学 部		合 計
				文科	理科		四年	二年	
六 甲 台	1 0	8	5	4					2 7
住 吉	5	2	1	3	1	5	1 4	1 5	4 6
姫 路	9	8	0	1	0	1	5		2 4
松 野					3	7			1 0
第二課程	6	1 0							1 6
明 石								1 5	1 5
城 北								4	4
合 計	3 0	2 8	6	8	4	1 3	1 9	3 4	1 4 2